

令和5年度 賛助会員名簿(敬称略)

♥ ありがとうございます ♥

〔個人会員〕

- 青木 信樹 小飯塚 信仁 酒巻 裕一 武田 真紀子 花野 政晴
青木 登志美 尾身 裕 笹嶋 真嵩 田崎 和之 馬場 賢哉
秋山 政人 笠原 至 佐藤 京子 田鹿 美幸 早津 正文
阿部 久司 笠原 至 佐藤 順子 田尻 正紀 東 智子
阿部 博史 片桐 正則 佐藤 祥 田中 一 広川 智香
阿部 道行 片桐 幹雄 佐藤 進一 田中 勝治 深井 春菜
新井 啓 勝井 豊 佐藤 真理子 田中 利夫 古川 里美
井浦 佐敏 加藤 拓也 佐藤 由紀 棚橋 成一 星野 明子
池原 順子 金子 秀樹 佐藤 幸示 田邊 正樹 細島 康宏
石川 久雄 金子 雅弘 真田 雅好 玉井 章広 堀井 淳一
石黒 菜摘 金子 よう 重住 京子 田村 芳昭 松浦 直人
石黒 裕二 金子 弘 品田 障二 丹羽 正之 松岡 尚気
石澤 成美 上村 旭 澁谷 浩 土屋 俊晶 マツダ ユキオ
石附 由美子 川嶋 禎之 清水 博 弦巻 恭太 眞山 徹二
逸見 幸恵 神田 元 清水 正法 戸枝 哲郎 丸山 明則
伊藤 正一 木島 秀人 志村 勇 桐野 哲哉 丸山 仁
伊藤 雅章 北村 雄大 下條 文武 土佐 一裕 武藤 謙介
伊藤 正広 木村 庸了 神保 和男 富山 順子 村山 実
稲村 史子 倉田 吉國 杉本 智子 永井 博子 森本 成彦
井上 重宏 國井 亮祐 倉田 吉國 中枝 智子 八子 円
今井 昭雄 栗田 美穂 鈴木 榮一 長尾 政之助 矢田 省吾
今井 和行 小出 千秋 鈴木 康仁 中川 圭子 柳原 和貴
今村 円香 甲田 豊 鈴木 正司 中川 邦夫 柳原 和貴
岩浪 晴輝 小坂 正一 鈴木 大地 中倉 吾吉 柳原 純子
杉浦 広隆 児玉 省二 鈴木 孝幸 中澤 美穂 山内 洋之
牛木 辰男 小林 晃 鈴木 忠二 中野 由紀 山崎 理
氏田 純子 小林 勲 鈴木 俊明 中村 勉 山崎 肇
内山 政二 小林 武郎 鈴木 幸雄 中山 尚子 山下 慎也
内山 美智恵 小林 矩明 清田 義和 中山 均 山田 剛
内山 幸夫 小林 博英 関根 理 鍋谷 一義 山田 英夫
浦邊 萌絵 小林 康雄 惣角 功 成澤 林太郎 山田 洋子
小川 美知代 小林 義昭 園田 裕久 成田 一衛 山本 卓
大崎 直樹 小山 圭介 高井 優治 難波 彰司 吉澤 和哉
大澤 豊 昆 伸二 高木 不退 難波 秀道 吉澤 豊久
オオタ オサム 齋藤 明美 高塚 尚和 難波 みずき 吉沢 浩志
大田 正信 齋藤 栄智翁 高橋 正子 新島 元 吉田 和清
大平 一茂 齋藤 和英 高橋 姿 西潟 良成 和田 雅樹
大塚 旭 齋藤 恒利 高橋 史明 西脇 京子 和田 迪代
大槻 典子 齋藤 正隆 高橋 将輝 庭山 昌俊 渡辺 一徹
大橋 正明 齋藤 正隆 高橋 龍一 野崎 俊江 渡辺 和仁
大原 峰夫 酒井 信治 高畑 慶一郎 野口 裕之 渡辺 静一
岡 俊幸 坂井 宏子 滝川 泰弘 野口 裕之 渡邊 二夫
岡田 義信 酒井 康弘 武内 廣盛 野田 和正

〔法人会員/医療機関〕

- あがの市民病院 上越総合病院
糸魚川総合病院 白根さいとう眼科
今井眼科医院 信楽園病院
医療法人議会 信楽園病院附属有明診療所
上田眼科 すどう小児クリニック
魚沼市立小出病院 せき眼科医院
扇町皮膚科医院 立川メディカルセンター
おおしま眼科 たむら脳外科クリニック
おおふち眼科 知命堂病院
大洲内科クリニック ながおか医療生活協同組合
大森内科医院 長岡赤十字病院
おがわ眼科クリニック なかやま眼科
小千谷さくら病院 南部郷生利生利病院
小千谷総合病院 新潟医療生活協同組合
小千谷総合病院 十日町診療所 新潟医療センター
柏崎総合医療センター 新潟勤労者医療協会 下越病院
片桐記念クリニック 新潟聖籠病院
川野眼科 新潟南病院
喜多町診療所 にいつ眼科
黒川病院 西新潟中央病院
くろきクリニック 野々村眼科医院
甲田内科クリニック 東新潟病院
河渡病院 舞平クリニック
向陽メディカルクリニック まきやま内科クリニック
五泉六島クリニック 松田眼科医院
こなん内科クリニック 松浜病院
こばやし内科クリニック 三浦内科医院
さいとう眼科医院 三島病院
佐藤医院 明元堂眼科医院
さど眼科 渡辺医院
佐渡総合病院 渡辺内科医院
三条眼科 三之町病院

〔法人会員/企業・団体〕

- 糸魚川医師会 中条ロータリークラブ
大森八千代会 新潟県医師会
柏崎市刈羽郡医師会 新潟県医師会
柏崎薬剤師会 新潟県眼科医会
柏崎ライオンズクラブ 新潟県健康管理協会
刈羽ライオンズクラブ 新潟県歯科医師会
県央薬剤師会 新潟県腎臓病患者友の会
江南警察署 新潟県薬剤師会
三条市医師会 新潟市医師会
株式会社志賀医科器械店 新潟市薬剤師会
新発田北蒲原医師会 新潟信用金庫
聖籠ライオンズクラブ 新潟青陵大学
株式会社ティモルギア 新潟青陵大学短期大学部
長岡薔薇ライオンズクラブ 西蒲警察署
長岡ライオンズクラブ 見附市南蒲原郡医師会
長岡ライオンズクラブ

Table with 4 columns: Category, Count, Amount, Total. Rows include Individual Members (259 people, 743,000 yen), Medical Institutions (67 groups, 870,000 yen), Corporate/Groups (32 groups, 450,000 yen), and Total (794,858 yen).

〔寄付金〕

- 石川 久雄 片桐 正則 関根 理 畠山 牧男 丸山 俊行
和泉 徹 金子 真奈美 高井 和江 古川 恵理子 宮島 衛
伊藤 雅章 関 剛 野口 武実 松岡 尚気 森山 美昭

新潟県ライオンズアイバンク協議会様より 200,000円のご寄付をいただきました。



賛助会員の皆様、寄付者の皆様には誌上をもって深く感謝申し上げます。



Relay For you

一臓器移植はあなたの意思をつなぎます 令和7年2月 第21号

新潟県臓器移植推進財団だより

発行：新潟県臓器移植推進財団 TEL.025-283-4880
新潟市中央区新光町4番地1
(新潟県福祉保健部健康づくり支援課内)
ホームページ http://www.niigata-ot.net/



ホームページ



グリーンリボンは移植医療のシンボルマークです。

活動報告

「臓器移植フォーラム2024 in 新潟」を開催しました(令和6年10月6日)

(主催：新潟県、公益財団法人新潟県臓器移植推進財団、新潟県腎臓病患者友の会)

より多くの人々に移植医療についての理解を深めてもらい、臓器提供について意思表示がなされることで、移植医療の推進を目的とする、毎年10月の「臓器移植普及推進月間」。

今年度は、昨年10月6日(日)に「アピタパワー 新潟亀田店」(新潟市江南区)の特設会場にて「臓器移植フォーラム 2024 in 新潟」を開催しました。今回は、通算16年目を迎えたFM-NIIGATAの特別番組「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植 THE FINAL」の公開録音を実施したほか、アトラクションとしてダンスグループ「CHIBI UNITY (チビユニティ)」によるパフォーマンスを披露していただきました。



【CHIBI UNITY パフォーマンス】

世界でも高い評価を受ける新潟発のダンスグループ「CHIBI UNITY」。今回は研修生(学生メンバー)の皆さんにご出演いただき、熱いパフォーマンスを披露していただきました。



【FM 番組公開録音】

FM-NIIGATAで毎年10月に放送している「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植」。16年目となった今年は、ヤンさん(FM-NIIGATAパーソナリティー)とアッキー(新潟県臓器移植推進財団 秋山政人)の名コンビの最終シーズン。アシスタントの西條詩菜さん(FM-NIIGATAパーソナリティー)、新たに当財団の臓器移植コーディネーターに就任した赤川美穂の4名のレギュラーメンバーに加え、公開録音のゲストとしてミノルクリス滝沢さん(FM-NIIGATAパーソナリティー)にもご参加いただき、5名で番組を収録しました。



出演者(左から):ミノルクリス滝沢さん、赤川美穂、秋山政人、ヤンさん、西條詩菜さん

今回の公開録音は大まかに4つのテーマ構成で行いました。
<第1パート:移植医療の基礎知識>
「臓器移植とは何か?」という基本から、移植医療は第三者による提供で成り立っていること、移植待機者や移植数などの現状をご紹介しました。
<第2パート:アピタでのアンケート結果の紹介>



「意思表示している/していない」「家族と話し合ったことがある/ない」そして「どうしたら意思表示が増えると思うか」について、事前にアピタパワーで行ったアンケートの

結果をご紹介しました。また全国の同様のデータもご紹介しながら意思表示の大切さについて話し合いました。

<第3パート:ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について>

ACP(*)の視点から、秋山氏や赤川コーディネーターの経験談を交えながら、移植医療においても健康な時から自分の考えを家族間で話し合っておくことの大切さについて話し合いました。

*ACP:年齢や病期にかかわらず、患者さんの人生観や価値観、将来の医療に関する望みを理解し共有し合うプロセスのこと。日本では「人生会議」とも

<第4パート:ご意見や質問など>

番組に寄せられたメッセージをご紹介しながら「どうすれば意思表示が増えるか」について話し合いました。また、フォーラムにご参加いただいた方々にも質問やご感想などをお聞きし、「意思表示によって救われる命があることが分かった」「家族に相談してみようと思う」などの声をいただきました。



【開会挨拶】

新潟県福祉保健部 健康づくり支援課 富山順子課長



【閉会挨拶】

新潟県腎臓病患者友の会 大竹勝巳会長



【お楽しみ抽選会】

公開録音終了後には、来場者限定で特産品やFM-NIIGATA オリジナルグッズなどが当たる抽選会を開催しました。

約2時間半にわたり開催した今回のフォーラム。多くの方々に移植医療について考えていただく機会になりました。

FM-NIIGATA「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植」は、当財団ホームページの「番組バックナンバー」ページで聴くことができます。*公開録音の様子は3・4回目



当財団では、これからもより多くの方々に移植医療について理解を深めていただくため、県内各地でのフォーラムを企画していきたいと考えております。

トピックス

令和6年度 臓器移植対策推進功労者に感謝状！

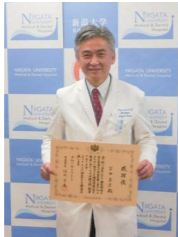
移植医療の普及啓発・治療向上への功績が認められ、新潟県からは2名に厚生労働大臣感謝状が授与されました。昨年10月に鳥取県で開催された「第25回 臓器移植推進国民大会」において感謝状の贈呈式が行われました。

富田 善彦 氏
(新潟大学医歯学総合病院長)

特定機能病院は、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発および高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院として、第二次医療法改正において平成5年から制度化され、令和6年10月1日現在で88病院が承認されています。新潟県では本院だけで、その高度医療には臓器移植も含まれ、ご存じのように、本県唯一の臓器移植施設となっています。移植医療は高度なチーム医療の実践力が必要であり、ニーズを満たすには移植数はまだまだ不足しています。また、数だけでなく質も大切で、移植後のケア、患者さんと一体となったマネジメントが必要です。これは、COVID19（新型コロナウイルス感染症）パンデミックの最中も何ら変わらないばかりか、移植患者さんの感染に対しては、一層の注意深い対応が必要とされました。

本院では、COVID19 パンデミックの中でも、いち早く、移植医療を継続することを決定しました。さらに、移植に際して、また、移植後のマネジメントに関してCOVID19に対応する体制を構築し、これを継続することができました。これは新潟県で移植医療にかかわるすべての皆様のご努力のたまものであると思います。よって今回の感謝状の受賞は、私個人ではなく、皆様の代表としていただいたものと承知いたしております。この度はありがとうございました。

所用により後日感謝状を受け取った富田先生



宮島 衛 氏
(日本赤十字社長岡赤十字病院 救命救急センター長 兼 集中治療科部長)

2024年10月、「第25回臓器移植推進国民大会in とっとり」に参加しました。臓器提供の推進において他県はまだ発展途上の印象で、当県の先見性を深く感じ入ると共に、私たちの活動から臓器移植対策推進功労者と認められたことをうれしく思いました。

生体肝移植を受けた中学生の体験談から高校生・医学生が臓器提供・移植を身近に考えるセッションがありました。学生世代は学校や友人などの日常で、ネットやドラマなどの非現実で、死やメンタルケアを身近に感じる機会があるからか、臓器提供・移植を共感できていました。

反面、私が担当する救急現場では壮年期の方々に医療や死に関する無関心をたびたび感じます。参加した「意思表示の大切さを考えるワークショップ」では意思表示が無いと残された家族の心理的負担が大きいことを話していました。学生世代は「命の授業」で認識を深め、親世代は命を考慮の大切さをお子さんから感じ取ってほしいと考えました。

第25回臓器移植推進国民大会in とっとりにて、後列一番左が宮島先生



ご挨拶

新任のご挨拶

新潟県臓器移植コーディネーター
赤川 美穂



令和6年8月1日付で新潟県臓器移植推進財団に新潟県臓器移植コーディネーターとして着任した赤川美穂と申します。

私はこれまで看護師として県内の病院に勤務し、救急の現場に携わる中で、尽力をしても残念ながら救命が難しい症例を目の当たりにしてまいりました。その中で、医師からご家族へ回復の見込みがないことの説明がなされ、今後のひとつの選択肢として臓器を提供するという情報提示（いわゆるオプション提示）がされることがあります。ご家族は、医療機関で突然、臓器提供という選択肢が提示されるため、多くの方々が戸惑い、葛藤されます。私は看護師としてこのようなご家族に対してどのように寄り添うことができるかを常に自問自答しつつ、ご家族が病状を受け止めていただいた際には、どのような看取りを希望されるかというご家族の心情に配慮してまいりました。

臓器提供の場面では、ご家族に寄り添う臓器移植コーディネーターの姿を目にして、移植医療における家族ケアの重要性を感じています。そして、臓器提供はこの世で最期の特別な出来事となること、家族の思いやとらえ方は千差万別であること等を実感しました。今後は移植

医療に携わり、ご家族が悔いを残すことなく、患者様と最期の時間を過ごすことができるような業務に関わっていきたくと考え、この度、臓器移植コーディネーターに着任させていただきました。

新潟県の臓器提供の状況としましては、現在、人口100万人あたりの脳死下臓器提供者数が全国トップクラスにあります。これは臓器提供の位置づけを「救急における看取り医療の一助」として、前任者が医療機関等への啓発を重ねてきたことが大きな要因のひとつだと感じています。加えて、臓器提供の際には、臓器搬送がスムーズに行えるよう警察や消防などの地域機関と連携を図る体制整備が行われてきたこともあります。こうした経緯から、私は前任者が培ってきた新潟県の臓器提供体制の維持に努めていくという重要な役務を果たす立場であると考えています。

また、県民に対する啓発活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。臓器提供の意思表示において、自ら意思を表示されている方もいらっしゃると思いますが、ご家族の方に臓器提供の意思を確認する代理意思決定により臓器提供がなされることがほとんどです。この現状は、家庭内で臓器提供について話をする機会が少ないことが要因のひとつと考えられます。何らかのきっかけがあり、家庭内で臓器提供の話をする機会があることで、人生の最期が変わってくると強く感じています。

最後に、病院関係の皆様には今後お世話になる機会があるかと存じます。新潟県臓器移植コーディネーターとして邁進する所存ですので、よろしくお願いたします。

データ

数字で見る臓器提供および移植の状況

● 献腎提供者・献腎移植者・献腎待機者の状況

令和5年12月31日現在（人）※年末締め

年度	R1	R2	R3	R4	R5	
献腎提供者	全国	119	72	67	102	131
	新潟	10	2	4	7	9
献腎移植者	全国	230	141	125	198	248
	新潟	8	2	4	6	9
献腎待機者	全国	12,505	13,163	13,738	14,080	14,330
	新潟	199	197	204	200	200

※(公社)日本臓器移植ネットワークホームページより

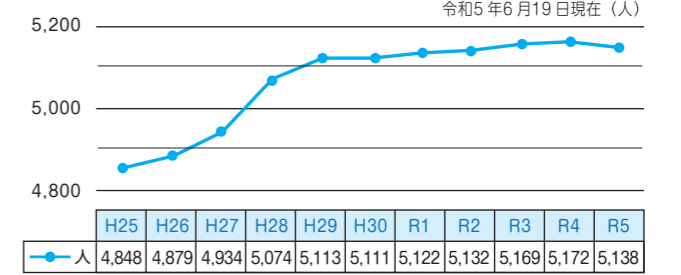
● 新潟県の検眼登録者・献眼者・待機者の状況

令和6年3月31日現在（人）※年度末締め

年度	R1	R2	R3	R4	R5
献眼登録者	90	39	105	108	69
献眼者	12	5	7	4	7
献眼待機者	19	21	19	31	36

※新潟県臓器移植推進財団集計

● 新潟県の透析患者の状況



参照：新潟県「人工腎臓透析実施状況調査」

臓器提供の意思を表示しましょう

運転免許証の裏面、マイナンバーカードの表面、臓器提供意思表示カード、インターネットによる意思登録で表示できます。



公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 役員名簿 (令和6年6月1日現在)

- 理事長 成田 一衛 [新潟県健康づくり・スポーツ医学科学センター センター長]
- 副理事長 福地 健郎 [新潟大学大学院医歯学総合研究科 眼科学分野 教授]
- 常務理事 齋藤 和英 [新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授]
- 理事 木下 義晶 [新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児外科分野 教授]
大谷 哲也 [新潟県医師会 理事]
吉澤 豊久 [新潟県眼科医会 会長]
青池 郁夫 [新潟県透析医会 会長]
鈴木 栄一 [魚沼基幹病院 病院長]
山口 征吾 [魚沼基幹病院 地域救急救命センター長]
宮本 豊博 [日本赤十字社 新潟県支部 事務局長]
石川 幸夫 [新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事長]
大竹 勝巳 [新潟県腎臓病患者友の会 会長]
- 監事 伊藤 和彦 元新潟県福祉保健部健康対策課参事 (課長補佐)

- 評議員 牛木 辰男 [新潟大学 学長]
富田 善彦 [新潟県病院協会 会長]
黒澤 史門 [新潟大学大学院医歯学総合病院 眼科 専任助教]
高井 和江 [新潟県医師会 理事]
山崎 肇 [長岡赤十字病院 副院長]
斎藤 有子 [(公社)新潟県看護協会 会長]
中田 泰範 [新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事長]
塚田 芳久 [新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 理事長]
森澤 真理 [新潟日報社 論説編集委員 室長]
田中 利夫 [日本文理高等学校 校長]
園田 裕久 [新潟県村上保健所長]
田中 昌直 [新潟県市長会 事務局長]
高橋 裕之 [新潟県町村会 事務局長]
石田 芳英 [樹石鋳工業 代表取締役 (新潟移植者の会)]
- 顧問 高橋 公太 [新潟大学医学部名誉教授]



寄付型自動販売機の設置にご協力ください

飲料の売上の一部が団体の活動資金として寄付される自動販売機です。寄付金は、移植医療の普及啓発のために大切に活用します。



※画像はイメージ

- 寄付金の振込は自販機業者が行うので、**手間や費用は一切かかりません。**
 - 飲料 1本あたりの**寄付金は任意に設定**できます。
 - **寄付金控除**の対象となります。
 - 設置企業・団体様等には電気料をご負担いただくこととなります。
 - **設置・置き換えは無料**です。また、売上に応じて**販売手数料**をお受け取りいただけます。
- 企業のCSR活動や、個人の社会貢献活動の一環として、ぜひご検討ください。

寄付型自動販売機の設置に関するお問い合わせは…
特定非営利活動法人寄付型自動販売機普及協会
フリーダイヤル0120-937-650 まで

財団の活動・運営にご協力ください

当財団では、一人でも多くの患者さんが移植を受けられるよう、県、市町村、患者団体等と連携し、臓器移植に関する知識の普及啓発等に取り組んでまいりました。

財団の活動は基本財産の運用益と皆様からの善意の賛助会費や寄付金で行っております。財団の安定的な活動・運営のため、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

賛助会費 および 寄付の方法	賛助会費 (年会費)	法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円
	郵便振替 の場合	口座番号 00500-4-76919 公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団
	銀行振込 の場合	第四北越銀行 新潟県庁支店 普通口座 237932 公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団

※当財団に賛助会費や寄付金を納められた方は、税額控除されます。領収書が必要な方はご連絡ください。